

とっておきの新居浜検定 過去問題集(中級編)



新居浜商工会議所
新居浜検定事業運営協議会

目 次

○第 1回 (平成22年11月 6日 (土) 実施)	中級問題 解 答	P 1 P 6
○第 2回 (平成23年 8月 6日 (土) 実施)	中級問題 解 答	P 7 P12
○第 3回 (平成24年 8月26日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P13 P17
○第 4回 (平成25年 8月11日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P18 P23
○第 5回 (平成26年 8月24日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P24 P29
○第 6回 (平成27年 8月23日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P30 P35
○第 7回 (平成28年 8月21日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P36 P41
○第 8回 (平成29年 8月20日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P42 P47
○第 9回 (平成30年 8月19日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P48 P53
○第10回 (令和 元年 8月25日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P54 P59
○第11回 (令和 2年11月 1日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P60 P65
○第12回 (令和 3年11月 7日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P66 P71
○第13回 (令和 4年11月 6日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P72 P77
○第14回 (令和 5年11月12日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P78 P83
○第15回 (令和 6年11月10日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P84 P89
○第16回 (令和 7年11月 9日 (日) 実施)	中級問題 解 答	P90 P95

○第8回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

新居浜市は、南は東赤石山を主峰とする赤石山系、北は瀬戸内海の燧灘に面しており、市内唯一の離島には、市営の渡海船が運行されています。その市内唯一の島の名前を書いてください。

（問題2）

新居浜市は今年市制施行80周年を迎えますが、昭和12年の市制施行時に合併したのは、新居浜町、高津村ともう一つはどこでしょうか。

（問題3）

別子山地域に流れている「四国三郎」の異名がある一級河川・吉野川の支流となる川の名前を書いてください。

（問題4）

市の西部を流れる渦井川の上流にある市指定名勝で落差約30メートルの滝の名前を書いてください。

（問題5）

中筋町と角野新田町を結ぶ朱色の生子橋を起点とし、鹿森ダム、清滝を經由して、川又の時雨橋を終点とする、約10キロの渓谷景勝地は愛媛県の名勝に指定されています。この景勝地の名前を書いてください。

（問題6）

絢爛豪華な新居浜太鼓台は、昭和45年（1970）に開催された「大阪万国博覧会」のお祭り広場に出場しましたが、大江太鼓台と何処の太鼓台が出場しましたか。

（問題7）

川西地区で、五穀豊穡と大漁祈願を分けて隔年交代で行い、海神に詣でる年に行われる太鼓台の行事を書いてください。

（問題8）

太鼓台の飾り幕で、四本柱の下部にある4枚の幕の名前を書いてください。

（問題9）

太鼓台において、【 問題9 】は雲を表すとされています。

（問題10）

現在の飾り幕の刺繍は、【 問題10 】・御殿の幕・禽獣と御殿の幕・禽獣の幕の4分野に大別されます。

（問題11）

明治32年（1899）の別子大水害の発生した月日はいつでしょうか。

（問題12）

大山積神社は、最初に旧別子地区の縁起の端に建設されていましたが、明治26年（1893）には同地区の何処に移されましたか。

(問題13)

別子山中での製錬事業を新居浜側へ移転するとともに、別子鉱石が硫黄を多く含むという性質から湿式製錬に適するとして明治21年(1888)に完成した製錬所の名前を書いてください。

(問題14)

近代化により東平に集められた鉱石を黒石・端出場などへ運搬するために設置されたもので、生活物資や坑内で使用する資材を運ぶためにも使われていました。現在は、東平にレンガ造りの基地跡が残っています。この鉱石を運ぶ設備の名前を書いてください。

(問題15)

別子山中で製錬された粗銅を大阪へ送るための玄関口として、元禄15年(1702)に海の近くに口屋(浜宿)が開設されました。それまでは別子山中から土居を経由する約35キロメートルの道を利用していましたが、口屋の開設によって別子から口屋へ運べるようになり、運搬距離が短縮されました。その距離は約何キロメートルでしょうか。

(問題16)

上部鉄道は、明治【問題16】年に角石原から石ヶ山丈間5,532メートルが開通しました。

(問題17)

山根グラウンドは、昭和2年(1927)鷲尾勘解治の指揮のもと、住友各社の社員によって、禅の思想の言葉である【問題17】より完成し、住友各企業合同の運動会などに利用されてきました。平成の現在も市民のオアシスとして親しまれています。

(問題18)

別子銅山の業場(採鉱の中心)が、別子から東平・端出場と山の下部へ移行するに従い、従業員社宅・鹿森社宅は大正5年(1916)に建設が始まり、翌年には270戸、全盛期には300戸・【問題18】人余りの人々が生活していました。

(問題19)

第四通洞の通洞口にある「第四通洞」の題字は、住友家15代家長・【問題19】の筆によるものです。

(問題20)

旧【問題20】水力発電所は、当時日本一の落差、約597メートルを利用した発電所として明治45年(1912)に建設されました。100年以上経過した現在もマイントピア別子の対岸に赤いレンガ造りの建物が現存しており、国の登録有形文化財として保存されています。

(問題21、問題22)

広瀬幸平は、別子銅山の近代化を推し進めるため、明治7年(1874)フランス人技師【問題21】を雇い入れました。彼は、約2年に亘って現地調査を行いながら、別子銅山の開発・再生のための計画書【問題22】を作成しました。これをもとに広瀬幸平は近代化を着々と進めていきました。

(問題23)

別子銅山の採鉱本部があった東平や別子山への生活道の橋梁として明治38年(1905)に建設され日本最古級の鉄橋ともいわれ、わが国で明治期に設置された鋼アーチ橋で現存するのは、この橋だけといわれています。平成17年(2005)に登録有形文化財となった、この橋の名前を書いてください。

(問題24)

昭和13年(1938)には、かご電車の運転が開始され、新居浜側と別子山側を結ぶ唯一の交通機関として一般の人が利用していました。では東平～日浦間は約何分で結ばれていましたか。

(問題25)

別子銅山で掘られた坑道の総延長は、約何キロメートルでしょうか。

(問題26)

多喜浜塩田では明治26年(1893)、国の商法施行に伴い塩田経営の合理化と近代化を進めるために愛媛県で最も早く塩田の会社が設立されました。この会社名を書いてください。

(問題27)

多喜浜塩田の開祖と言われる信濃国出身の深尾権太輔のお墓があるお寺の名前を書いてください。

(問題28)

入浜式塩田では、【 問題28 】という道具の中に塩を入れていました。

(問題29、問題30)

多喜浜塩田は、元禄16年(1703)深尾権太輔らにより着手され、その後享保8年(1723)、【 問題29 】らにより継承され、古浜・東浜・【 問題30 】・北浜・三喜浜の5浜が140年余の長きにわたり築造されました。総面積は240町歩余となり、日本有数の大塩田として地域の発展に寄与してきました。

(問題31、問題32)

アツケシソウは、北海道の厚岸の牡蠣島で発見されましたが、その後全国各所の【 問題31 】跡に分布していることが確認されました。塩田史とのかかわりが深いことから、昭和59年(1984)に【 問題32 】の天然記念物に指定されています。

(問題33)

多喜浜塩田は、江戸時代元禄の終わり頃から始まり、250年余り営々と塩づくりに携ってきた輝かしい歴史を持っていますが、昭和34年(1959)、国の政策によりその幕を降ろしました。この間、最も長く続いた製塩法は何といいますか。

(問題34)

多喜浜塩田開基である天野喜四郎元明翁の顕彰碑が、昭和45年(1970)に鷲尾勘解治の揮毫^{きごう}で、建立された場所は何処ですか。

(問題35)

黒島一番地にある加藤家では、塩釜の燃料を扱う【 問題35 】を営んでいました。

(問題36)

武徳殿は木造平屋建てで、内部には50畳敷規模の剣道場と柔道場が収まっています。昭和13年(1938)に初代新居浜市長と誰が寄付をして建てられたのでしょうか。

(問題37)

別子山地域の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【 問題37 】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題38)

マリパーク新居浜は四国最大級のマリーナとして、平成8年(1996)にオープンし、平成18年(2006)には四国初の【 問題38 】に認定されました。

(問題39、問題40)

かぶと踊りは、【 問題39 】校区に伝わる【 問題40 】の踊りで、リズムに合わせて腰を前かがみにして手足を動かし、それを繰り返す悠長な踊りであり、太鼓のみでリズムを取るのも特徴の一つです。

(問題41)

垣生の庄屋・高橋家の使用人が仕事に歌っているのを、領内巡視の為に通りかかった西条藩主が耳にされ、面白い歌であるとほめられました。おめでたい席で歌われ、宴たけなわになると歌詞を即興的に作詞して歌われたようです。この歌の名前を書いてください。

(問題42)

えびちくわは、瀬戸内海でとれる新鮮な小エビ、小魚の白身、【 問題42 】を混ぜて焼き上げたもので、新居浜の名物として知られています。

(問題43)

嫁年貢とは、【 問題43 】が大量にとれる春に行われる新居浜の風習です。

(問題44)

住友重機械エンジニアリングサービス(株)は、国内・海外の港や工場などで使用する運搬荷役機械等の搬送システムの設計・製造・据付けからアフターサービスまでを一貫して提供しています。中でも、1台あたり800トンの吊り上げ能力を有し、造船所において最も重要と言われる運搬設備の名前を書いてください。

(問題45)

大正11年(1922)に四阪島製錬所と新居浜を結ぶ全長約20.8キロメートルの海底ケーブルを敷設しましたが、現在この海底ケーブルを管理している会社名を書いてください。

(問題46)

正岡子規が詠んだ「童らの蝉さしに来る社かな」という句碑があり、国指定の天然記念物であるクスノキに囲まれた神社の名前を書いてください。

(問題47)

別子銅山記念館前にある住友吉左衛門友成の歌碑にあてはまる言葉を書いてください。この【 問題47 】を神とし仰ぎ幾代かも 掘りつぎて来しことの畏こさ

(問題48)

立川山村に生まれ、立川英明小学校卒業後、小足谷尋常高等小学校に入学し卒業後、明治23年(1890)に立川住友分店に勤めました。その後、神戸製鋼所初代支配人となった人物の名前を書いてください。

(問題49)

新居郡中萩村松木(現松木)に生まれ苦学して日本画を学び、日本南画院を設立した人物の名前を書いてください。

(問題50)

官公庁の接待館として時の国鉄総裁・十河信二や俳人・河東碧梧桐などの有名人も数多く訪れた建物の名前を書いてください。

解答

とっておきの新居浜検定 第8回中級解答用紙

受験番号	
------	--

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	大島	26	東浜産塩株式会社
2	金子村	27	明正寺
3	銅山川	28	塩吹
4	銚子の滝	29	天野喜四郎
5	別子ライン	30	久貢浜
6	江口	31	塩田
7	船御幸	32	新居浜市
8	高欄幕	33	入浜式塩田
9	くくり	34	久貢屋敷
10	武者絵の幕	35	石炭問屋
11	8月28日	36	住友家
12	目出度町	37	45
13	山根製錬所	38	海の駅
14	索道	39	船木
15	16キロメートル	40	雨乞い
16	26	41	じょうさ節又は垣生じょうさ節
17	作務	42	豆腐
18	1,300人	43	鯖
19	友純	44	ドライスルー又は800t吊りドライスルー
20	端出場	45	住友共同電力㈱
21	ルイ・ラロック	46	一宮神社
22	鉱山目論見書又は別子銅山目論見書	47	銅山
23	遠登志橋	48	田宮 嘉右衛門
24	30分	49	河野秋邨
25	700キロメートル	50	神野邸(料亭喜楽)

○第9回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

新居浜市は、東経133度17分、北緯【 問題1 】度57分に位置し、東は四国中央市、西は西条市、南は高知県境に接し、北は瀬戸内海の燧灘に面しています。

（問題2）

2世紀後半景行天皇の皇子【 問題2 】が伊予国御村別として御村（東予）に君臨したといわれています。

（問題3）

一宮神社には国の天然記念物に指定されているクスノキがあります。クスノキは、黒潮に近い沿岸部の暖地を好む常緑広葉喬木で、昔クスノキから防虫効果がある物を作っていました。防虫効果がある物の名称を書いてください。

（問題4）

新居浜市の地質は、平野部と南部にそびえ立つ山地との境部分、すなわち山麓線には、日本列島を東西に横切る大断層が走っています。その大断層の名称を書いてください。

（問題5）

国領川の支流・西種子川の上流にある滝の名称を書いてください。

（問題6）

太鼓台の重、8枚の飾り幕が取り付けられる「重」の別名を書いてください。

（問題7）

太鼓台 四本柱の下部につける4枚の飾り幕の名称を書いてください。

（問題8）

昭和10年頃の船御幸は、現在のような台船ではなく、【 問題8 】に乗せて行っていました。

（問題9）

太鼓台は、祭礼の時に神輿に供奉する山車的一种で、神輿渡御の際に参列し、豊年の秋を感謝して【 問題9 】に奉納したもので、その起源は平安時代、あるいは鎌倉時代まで遡るといわれています。

（問題10）

布団締め龍の立体刺繍は、立龍で「阿龍・吽龍」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」【 問題10 】と諸説があります。

（問題11）

明治11年（1878）に開坑し、現在残る坑口は昭和15年（1940）に開坑して、同48年（1973）3月の別子銅山休山まで使用されていた坑口の名称を書いてください。

(問題12)

別子銅山は明治13年(1880)に日本の鉱山としては初めて実地試験に成功し使用された画期的な道具の名称を書いてください。

(問題13)

昭和12年(1937)、別子銅山開坑250年記念の来賓を迎えるために、純和風の接待館が現在の新居浜市立別子銅山図書館がある北新町に建てられましたが、その接待館の名称を書いてください。

(問題14)

かつて別子銅山の採鉱本部があり、集落が形成されていた東平および別子山へ行く生活道として明治38年(1905)に建設された、日本最古級の鉄橋ともいわれている鋼アーチ橋の名称を書いてください。

(問題15)

別子銅山で採鉱によって荒廃した山をみて「別子全山を旧のあおあおとした姿にしてこれを大自然にかえさねばならない」と、多いときでは年間100万本以上もの植林事業をすすめた人物の名前を書いてください。

(問題16)

煙害問題解決のため、惣開製錬所より移転し、明治38年(1905)から本格的に操業を開始した製錬所がある島の名称を書いてください。

(問題17)

明治32年(1899)8月、別子大水害があり514名の尊い命が失われています。この時の別子鉱業所支配人の名前を書いてください。

(問題18)

毎年元旦、銅山の守護神としてお祀りした大山積神社に良質の銅鉱石を奉献し、作業の安全と銅山の繁栄を祈る行事の名称を書いてください。

(問題19)

広瀬幸平が明治7年(1874)に雇い入れたフランス人鉱山技師ルイ・ラロックがまとめた報告書の名称を書いてください。

(問題20)

明治23年(1890)に別子銅山開坑200年記念として、広瀬幸平は別子の銅をつかって【問題20】の銅像を制作し、皇居前広場に設置しました。

(問題21)

江戸時代には仲持衆と呼ばれる運搬専門の人夫たちが、物資輸送を支えていましたが、明治13年(1880)に、銅山越を越えて新居浜まで続く牛車道がつくられました。さらに明治19年(1886)に銅山越の直下に第一通洞トンネルを掘り、明治26年(1893)、わが国最初の【問題21】鉱山鉄道を敷設しました。

(問題22)

東平小学校は、明治39年(1906)に私立住友東平尋常高等小学校として創設され、東平の中心だけでなく、遠く離れた山中の社宅からも子供たちは通学していました。また、東平中学校は戦後の学制改革に伴い創設されました。長い歴史と思い出の教場でありましたが、昭和43年(1968)に東平は撤退し学校は閉校となりました。小学校では閉校までの62年間に約2600人の子供たちが学び、中学校では昭和21年(1946)から閉校まで約【問題22】人の生徒が学びました。

(問題23)

鷺尾勘解治は、共存共栄を説き、新居浜の都市計画の礎を作りました。彼は若い鉱山従業員たちのために私塾【問題23】を作り、精神的な向上を図りました。

(問題24)

別子山中から、新居浜口屋への物資輸送の中継基地である【問題24】は、周辺に料亭などもあり賑わいを極め、銅山へ行く人たちは、「せつとう節」にもうたわれたように、眼鏡橋の上で迷ったといわれています。

(問題25)

伊庭貞剛は、明治37年(1904)「事業の進歩発達に最も害をするものは、青年の過失ではなくて、【問題25】である」と58歳の若さで現役を退きました。

(問題26)

慶応元年(1865)、三喜浜塩田開発に際し、東浜塩田の東堤防に沿って流れていた阿島川を、現在の流路に付け替えました。この時東西に続いていた三ツ杭山を切り抜き、現在の阿島川となりました。この地区の地名を書いてください。

(問題27)

江戸時代後期1800年頃、藤田家12代当主藤田初右衛門(1770~1830)は西条藩士多喜浜塩田惣肝煎役として郷村庄屋を務めるかたわら、武芸に秀でた人で邸内に道場を構えて近隣の青少年に剣術を教えていました。その道場の名称を書いてください。

(問題28、問題29)

岡本家所蔵の長櫃は、孝明天皇の妹、皇女和宮拝領の長櫃とされていますが、天皇家【問題28】の紋章と徳川家【問題29】の紋章があしらわれています。

(問題30)

明治17年(1884)、瀬戸内海を襲った台風で被害にあった旧西条藩主松平家の塩田を地元塩業者らが購入し、明治26年(1893)の商法施行とともに【問題30】を設立しました。県内で最も早い創設で、地元では通称「マルトウ」と呼ばれていました。

(問題31)

「この濱を拓きし人の面影を 語り伝えや松よ蘇鉄よ」この歌の作者の名前を書いてください。

(問題32)

かん水を煎ごう(煮詰める)し、塩を作る平釜と塩を袋に詰める作業場の名称を書いてください。

(問題33)

塩田で使用される道具で、塩を入れる袋の名称を書いてください。

(問題34)

多喜浜塩田を拓いた天野喜四郎によって、西条藩から譲り受けてお祀りされていたお堂の名称を書いてください。

(問題35)

アッケシソウ(厚岸草)は、海水が出入りする湿地に生えるアカザ科の1年草です。葉は退化して「鱗片状」に変化し、草丈15~30cmくらいに成長し、8~9月頃にひっそりと開花します。11月頃になると鮮やかに紅葉することから【問題35】ともいわれています。

(問題36)

別子銅山記念図書館は、別子開坑300年にあたる平成2年(1990)、住友関係企業【問題36】社から図書館を建設して市に寄贈する申し出があり、同4年(1992)市民文化センター横から移転、開館しました。

(問題37)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めると共に、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設され、平成6年(1994)に開館しました。館内には、「自然館」「【問題37】」「産業館」の3つの常設展示室があります。

(問題38)

武徳殿は、初代新居浜市長・白石誉二郎と住友家の寄付により、昭和【問題38】年に建てられました。

(問題39)

一宮神社に祀られている狸で、慈眼寺の和尚に化けて大阪に船で渡った狸の名称を書いてください。

(問題40)

新居浜市に本部があり、全国に43支部、1,500人の会員を抱える全国組織の名称を書いてください。

(問題41)

垣生の庄屋・高橋家の使用人「丈吉」が仕事に歌っているのを、領内巡視のために通りかかった西条藩主が耳にされ面白い歌であると褒められました。おめでたい席で歌われ、宴たけなわになると歌詞を即興的に作詞して歌われたようです。この歌の名前を書いてください。

(問題42)

瀬戸内海でとれる新鮮な小えびと小魚の白身と豆腐を混ぜて、竹に巻いて焼く、東予地方の郷土の味である食べ物の名前を書いてください。

(問題43)

秋に新芋を供えて豊作を祈願する「お籠り」と呼ばれる親睦行事が具体的な起源とされている行事の名称を書いてください。

(問題44)

東平接待館で宿泊した際に「東平の 山ふところに 石楠の 花ながめつつ 鶯をきく」という歌を残した詩人の名前を書いてください。

(問題45)

電気ニッケルを国内で唯一商業ベースにより生産している会社の名前を書いてください。

(問題46)

角野新田町 大山積神社・別子銅山記念館西側に、川田 順の歌碑があります。「地中にてはたらくことは慣れながら 皆【 問題46 】礼して這入る」

(問題47)

新居浜の方言で「ほたえる」を意味する言葉を書いてください。

(問題48)

別子山村出身者のイラストレーターで、舞台芸術やアニメーション、映画、グラフィックデザイン、挿絵のほか、新聞、テレビでの文明批判、講演・著作活動など多方面で活躍し、山根温水プール壁画、移動図書館「青い鳥号」などの作品で知られる人の名前を書いてください。

(問題49)

昭和4年(1929)以来、角野村収入役、同助役、角野町長などを歴任。同22年(1947)から県会議員を20年間務め、議長、副議長としても活躍した人の名前を書いてください。

(問題50)

別子銅山の物資を搬送していた泉屋道と金比羅道との交差点にあり、現在も稲荷市を行っている商店街の名称を書いてください。

解答

とっておきの新居浜検定 第9回中級解答用紙

受験番号

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	33	26	切抜
2	武国凝別命（たけくにこりわけのみこと）	27	陶城館
3	樟脳	28	菊
4	中央構造線	29	葵巴
5	魔戸の滝	30	東浜産塩株式会社
6	布団屋根	31	天野好直
7	高欄幕	32	釜屋
8	木造ダルマ船	33	塩吹
9	氏神	34	白浜阿弥陀堂
10	降雨神説	35	谷地珊瑚（やちさんご）
11	筏津坑	36	21
12	ダイナマイト	37	科学技術館
13	泉寿亭	38	13
14	遠登志橋	39	小女郎狸
15	伊庭貞剛	40	日本のお手玉の会
16	四阪島	41	じょうさ節 又は 垣生じょうさ節
17	鈴木馬左也	42	えびちくわ
18	大鉈祭	43	いもだき
19	鉢山目論見書または別子銅山目論見書	44	土井晩翠
20	楠木 正成	45	住友金属鉢山株式会社
21	山岳	46	大山祇に
22	600	47	ふざける
23	自彊舎	48	真鍋博
24	立川仲宿	49	近藤廣仲
25	老人の跋扈	50	喜光地

○第10回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

平成30年（2018）10月末現在での新居浜市の人口は何人でしょう。

（問題2）

白頭山河内寺の本尊の薬師如来座像は何時代初期に作られたでしょう。

（問題3）

愛媛県総合科学博物館で開催された第6回国際エコロジャイト会議は、平成何年に開催されたでしょう。

（問題4）

愛媛県指定の名称となっている「別子ライン」にある清滝は落差約何mでしょう。

（問題5）

ツガザクラは、ツツジ科で砂礫地を好み、高さは10cm～25cmで、5月中旬から6月【問題5】にかけて、枝の先に釣鐘型の薄いピンク色の華麗な花が咲き誇ります。

（問題6）

太鼓台の謡として、都はるみが歌っている曲の題名は何というでしょう。

（問題7）

東西南北の四方を表すとされている太鼓台の部位は何というでしょう。

（問題8）

絢爛豪華な新居浜の太鼓台の「天幕」は【問題8】を表し、紅白は太陽の輝きを表しています。

（問題9）

平成31年（2019）1月1日現在、新居浜市にある太鼓台の台数は何台でしょう。

（問題10）

新居浜太鼓祭りを無事故で明るい平和な祭典とするための全市的な取り組みを図るため、各地区太鼓台運営委員会（協議会）を含め市内各界からの代表者によって組織された会があります。その会の名称は何というでしょう。

（問題11）

東平からの索道は、明治38年（1905）から東平～黒石のルートで運転を始めました。その後東平～端出場へのルートに変更していますが、いつルートを変更したでしょう。

（問題12）

第三通洞は明治27年（1894）から建設を始め同35年（1902）に完成し、坑道の長さは1795mありました。さらに日浦通洞が完成し東平～日浦間が約4000mで結ばれましたが、その通洞はいつ完成したでしょう。

(問題13)

銅山峰から嶺南側に少し下った大露頭のすぐ下に、人1人がやっと通れるくらい狭い元禄時代の古い坑道跡がありますが、この坑道跡の名称を何というでしょう。

(問題14)

三波川変成岩帯中に胚胎する層状含銅硫化鉄鉱床は、キースラーガーと呼ばれています。キースは黄鉄鉱で、ラーガーは鉱脈という言葉の合成語です。では、キースラーガーは何語でしょう。

(問題15)

開坑以来270年を経た別子銅山では、鉱脈が下部に移行したため、昭和35年(1960)に開削に着手し、端出場の打除(標高約210m)から海面下約1,000mに及ぶ坑内運搬路が昭和43年(1968)に完成しました。この坑道の名称は何というでしょう。

(問題16)

鷲尾勘解治は青年坑夫の教育を図りたいと総理事に申し出て了承を得、塾名の自彊舎はその総理事が命名しました。この時の総理事は誰でしょう。

(問題17)

第四通洞と探鉱通洞が連絡したことから、全延長約何mの通洞となったでしょう。

(問題18)

明治33年(1900)に竣工した「楠木正成」の銅像は、住友家から明治天皇へ献納され今も皇居前広場に建っています。別子銅山の開坑何年の記念で献納されたでしょう。

(問題19)

煙害問題が拡大したため、伊庭貞剛が移転を計画した四阪島製錬所は、明治38年(1905)に本格操業を開始しました。島には住友家御当主の別邸も建設されました。この別邸の一部は、平成30年(2018)に市内の星越地区に移転され記念館として公開されています。何という建物でしょう。

(問題20)

山根製錬所は、広瀬幸平によって明治21年(1888)完成し、貧鉱として放置された品質の低い鉱石から、銅分を沈殿銅として回収するために製錬所が建設されました。しかし、煙突から出る【問題20】が付近一帯の農作物等に悪影響を及ぼしました。

(問題21)

別子銅山の歴史は、人跡未踏の【問題21】の南側で元禄3年(1690)露頭が発見され、翌年、住友により採掘が開始されたのが始まりです。

(問題22)

住友関連企業の福利厚生施設として【問題22】は昭和11年(1936)に竣工し、コミュニケーション及び迎賓館的な場として活用されました。その利用者は住友の社員と家族など関係者に限られており、厳格な礼儀、規則の遵守が課されていました。

(問題23)

索道場は、【 問題23 】、選鉱場、索道基地からなります。

(問題24)

旧端出場水力発電所は、当時東洋一の有効落差約597mを利用した発電所として明治45年(1912)に建設されました。100年以上経過した現在もマイントピア別子の対岸に赤いレンガ造りの建物が残っており、歴史的、建築的にも価値のある建物として、国の【 問題24 】文化財となっています。

(問題25)

マイントピア別子・端出場ゾーンは、鉱山のテーマパークとして、平成3年(1991)6月5日にオープンしましたが、マイントピア別子のメインの建物は何というでしょう。

(問題26)

上部鉄道は、日本最初の山岳鉱山鉄道として明治26年(1893)に角石原から石ヶ山丈の間【 問題26 】が開通しました。

(問題27)

多喜浜塩田1軒前の平均的職種別労働者を何というでしょう。

(問題28)

歴代の天野喜四郎らによって144年間の長きに亘り造成されてきた多喜浜塩田5浜のうち、最初に造成された浜の名称は何というでしょう。

(問題29)

新居浜の天然記念物である「アッケシソウ」は、11月ごろになると鮮やかに紅葉することから別名がつけられました。その別名は何というでしょう。

(問題30)

天野喜四郎元明らと共に多喜浜塩田の開発のために備後から移り住んで塩田築造以来、塩田地主として塩田経営に尽力し、国策により廃田となる昭和34年(1959)まで営々と製塩業に従事したのは何家でしょう。

(問題31)

近世、松神子村の庄屋を務め、多喜浜塩田の地主でもあった「小野家」の屋号は、何といわれているでしょう。

(問題32)

「この濱を拓きし人の面影を 語り伝えや松よ蘇鉄よ」この歌の作者は誰でしょう。

(問題33)

多喜浜塩田開基・天野喜四郎元明高翁の顕彰碑が、新居浜文化協会より、昭和45年(1970)に【 問題33 】に建立されました。揮毫は鷲尾勘解治です。また、屋敷の一角にある雌株のソテツは、享保8年(1723)、天野喜四郎元明がこの地に居を構え、ここを本拠として塩田の開発に当たったことを記念して植えられたものです。

(問題34)

多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何というでしょう。

(問題35)

あかがねミュージアムにある演劇や音楽活動のできるホールあかがね座の座席数は何席あるでしょう。

(問題36)

別子山地区にある森林公園ゆらぎの森にある宿泊施設の名称は何というでしょう。

(問題37)

マリンパーク新居浜がみなとオアシスに登録されたのは何年何月でしょう。

(問題38)

船木地区では、南方にそびえる兜山に祀られている不動尊を崇拝して、日照りの時には雨乞いをしました。雨に恵まれた時には感謝の気持ちを表してかぶと踊りを踊りましたが、どんな服装で踊ったでしょう。

(問題39)

垣生地区で200年程前から歌われ始めたといわれ、新築落成や婚礼などのおめでたい席で披露される郷土芸能は、垣生【 問題39 】節です。

(問題40)

大島のとうどおくりでは、高さ10mもある「とうど」を作ります。「とうど」には【 問題40 】と書かれた幟が連なります。

(問題41)

別子銅山で働いていた中国人から、戦後に教わった中国料理の鶏のから揚げのことを何というでしょう。

(問題42)

昭和15年頃、「波満蝶」先々代・藤田浅次郎が馴染みの客に「何か簡単なふぐ料理を作ってくれ」と頼まれたのが始まりの料理は何でしょう。

(問題43)

新居浜市沖合の燧灘に浮かぶ四阪島に住友共同電力株式会社が新居浜から海底ケーブルを敷設したのは何年何月でしょう。

(問題44)

住友重機械搬送システム株式会社が提供しているものの中で、造船所における最も重要な運搬設備である、造船建造ブロックの吊り上げに欠かせないクレーンの名称は何というでしょう。

(問題45)

ものづくりブランドは、平成30年(2018)3月末現在、何社の製品が認定されているでしょう。

(問題46)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも掘りつぎて来しことの畏こさ」と詠んだ人は誰でしょう。

(問題47)

大山積神社の境内南入口の脇に正岡子規の作品が残されています。空欄に入る言葉は何でしょう。

武蔵野に秋風ふけば【 問題47 】の新居の郡の芋をしぞ思う

(問題48)

昭和27年(1952)の全日本いけ花展で文部大臣賞を受賞、同45年(1970)には大阪万博会場に花を飾り、万博に華を添えたのは誰でしょう。

(問題49)

昭和32年(1957)読売巨人軍に入団し、新人王、最優秀選手賞を獲得し、読売巨人軍の監督としても数々の功績を残した藤田元司の出生地はどこでしょう。

(問題50)

喜光地に大正8年(1919)以来の店で、和洋酒類・食料品の販売やキコーマル醤油の醸造元として知られた店の名称は何というでしょう。

とっておきの新居浜検定 第10回中級解答用紙

受験番号

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	119,999人	26	5,532m
2	平安	27	浜子
3	平成13年	28	古浜
4	60m	29	谷地珊瑚
5	初旬	30	岡本家
6	ちよおうさじゃ	31	榎之本
7	四本柱	32	天野好直
8	宇宙	33	久貫屋敷内
9	54台	34	振嶺
10	新居浜市太鼓祭り推進委員会	35	250席
11	昭和10年(1935)	36	オーベルジュゆらぎ
12	明治44年(1911)	37	平成30年(2018)7月
13	大和間符	38	野良善
14	ドイツ語	39	じょうさ
15	大斜坑	40	宝来山左義長
16	鈴木馬左也	41	ざんき
17	10,000m	42	ふぐざく
18	200年	43	大正11年(1922)10月
19	日警別邸記念館又は日警別邸	44	ゴライアスクレーン
20	亜硫酸ガス	45	39社
21	銅山峰	46	住友吉左衛門友成
22	住友倶楽部	47	故郷
23	貯鉱庫	48	障原楊月
24	登録有形	49	越智郡宮窪町四阪島
25	端出場記念館	50	東屋酒店

○第11回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

新居浜市制【 問題1 】周年を記念して市花は「つつじ」、市樹は「くす」が選定されました。

（問題2）

天正13年7月、羽柴（豊臣）秀吉の四国攻めに遭い、その武将小早川隆景の攻略により落城、【 問題2 】は宇摩、新居2郡からなる軍を統率して氷見高尾城に逃れ小早川の大軍を迎えて敗れました。

（問題3）

白頭山河内寺は、東予地方屈指の古刹で、【 問題3 】時代の創建といわれています。境内には巨大な礎石が残っており、七堂伽藍を具備していた大寺院と推定されます。境内各所から白鳳時代の百濟式瓦や、法隆寺式瓦が多数採集されています。

（問題4）

一宮神社のクスノキ群は、国指定天然記念物になっていますが、参道や社殿の周囲には約何本あるでしょう。

（問題5）

国領川の支流・西種子川の上流には魔戸の滝、渦井川の上流には銚子の滝があり、いずれも市指定の名勝となっています。愛媛県指定名勝「別子ライン」には清滝がありますが、その清滝の落差は約何mでしょう。

（問題6）

上部鉄道は、明治26年（1893）日本最初の山岳鉱山鉄道として、角石原から石ヶ山丈まで5,532mありました。カーブは何ヶ所あったでしょう。

（問題7）

（問題6）の上部鉄道の平均速度は時速約何kmだったでしょう。

（問題8）

（問題6）の上部鉄道は、当初、ドイツ製の機関車2両、客車1両、貨車15両が購入されましたが、この蒸気機関車の製造メーカー名を書いてください。

（問題9）

昭和12年（1937）別子銅山開坑250年記念の来賓を迎えるために、京風数寄屋造りの味わい深い純和風の接待館として新居浜市北新町に建てられ、その後、一部がマイントピア別子に移築された建物の名称を書いてください。

（問題10）

端出場鉄橋（打除鉄橋）は明治26年（1893）に下部鉄道開通に合わせて鉄道関係の設計技師である小川東吾により、鉱山専用鉄橋として設計され、ドイツの会社から輸入し、製作されました。そのドイツの会社名を書いてください。

(問題11)

別子山中や新居浜の製錬所から出る亜硫酸ガスによって森林や農作物が枯れる煙害問題に対処するため、年間100万本を超える植林事業を進めるなど、わが国の環境対策を行った草分け的人物の名前を書いてください。

(問題12)

日本の鉱山で初めてダイナマイトを使用して掘られた輸送用トンネルの名称を書いてください。

(問題13)

別子山地区において、別子銅山閉山まで使用されていた坑口の名称を書いてください。

(問題14)

東平接待館は東平坑閉坑までの61年間利用されました。接待館には川田順(歌人)や【問題14】(俳人)のほか土井晩翠(詩人)といった各界の著名人が訪れました。

(問題15)

端出場水力発電所は、明治45年(1912)、わが国最大級の出力【問題15】kwで建設されました。約597mの有効落差を利用して発電が行われ、これは当時、東洋一の落差でした。

(問題16)

大露頭は、【問題16】と呼ばれる黄銅鉱を主とした層状硫化鉄鉱が露出したものです。

(問題17)

明治38年(1905)、東平から新居浜側の黒石への索道ルートが出来ましたが、その後端出場ルート変更したのは【問題17】年でした。

(問題18)

旧広瀬邸は、明治中期の大規模和風住宅で平成15年(2003)新居浜市として初の国の【問題18】に指定されました。母屋は、明治10年(1877)に久保田町に建設されましたが、同18年から20年にかけて現在地(上原)へ移転しました。

(問題19)

東平の索道は動力を使用せず、【問題19】を下ろす重さを利用して生活物資等を下から荷揚げしていました。

(問題20)

第三通洞は、明治27年(1894)から建設作業を始め、同35年に完成しましたが坑道の長さは何mだったのでしょうか。

(問題21)

松神子の豪農小野家に生まれ、明治26年(1893)に東浜産塩株式会社を設立して社長となり、製塩業に取り組んだ人物の名前は何かというでしょう。

(問題22)

多喜浜小学校内にある「ソルティ多喜浜」で再現されている製塩の仕組みは何式でしょう。

(問題23)

天野喜四郎元明らと共に多喜浜塩田の開発のために備後から移り住んで以来、塩田地主として塩田経営に尽力し、国策により廃田となる昭和34年(1959)まで営々と製塩業に従事したのは何家でしょう。

(問題24)

「この濱を拓きし人の面影を語り伝えや松よ蘇鉄よ」この歌の作者は誰でしょう。

(問題25)

近世、松神子村の庄屋を務め、多喜浜塩田の地主でもあった「小野家」の屋号は何とされているでしょう。

(問題26)

多喜浜塩田開基・天野喜四郎元明翁の顕彰碑が、新居浜文化協会により、昭和45年(1970)に【問題26】に建立されました。揮ごうは、鷺尾勘解治で、屋敷の一角にある雌株のソテツは、享保8年(1723)、天野喜四郎元明がこの地に居を構え、ここを本拠として塩田の開発に当たったことを記念して植えられたものです。

(問題27)

多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何というか書いてください。

(問題28)

新居浜市内の太鼓台は、各地区太鼓台運営委員会(協議会)に所属していますが、そこでは主にどのようなお祭りとするための申し合わせ事項を決定しているでしょう。

(問題29)

【問題29】年に作られた太鼓台の謡「ちょおうさじゃ」は、都はるみの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げます。

(問題30)

太鼓祭りの最終日に川西地区で五穀豊穡と大漁祈願を分けて隔年交代で行い、海神に詣でる年に行われる行事が【問題30】です。

(問題31)

【問題31】年、第21回チンゲイ・パレードがシンガポールで開催され、久保田太鼓台が参加しました。

(問題32)

布団締め龍の立体刺繍は、立龍で「【問題32】」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」「降雨神設」と諸説があります。

(問題33)

森林公園ゆらぎの森の園内には日本最大級のパーゴラ（藤棚）がありますが、その直径は何mでしょう。

(問題34)

マリパーク新居浜は、平成18年（2006）に四国初の「海の駅」に認定され、平成30年（2018）7月には、何に登録されたでしょう。

(問題35)

毎年元旦、銅山の守護神としてお祀りした大山積神社に、良質の銅鉱石を奉獻し、作業の安全と銅山の繁栄を祈る行事は【 問題35 】です。

(問題36)

大島のとうどおくりのときに焚火をしながら作るご馳走で、「これを食べてようやくとうどが終わる」といわれ、子供たちが楽しみにしている食べ物は何か書いてください。

(問題37)

かぶと踊りは、船木校区に伝わる【 問題37 】の踊りで、リズムに合わせて腰を前かがみにして手足を動かし、それを繰り返す悠長な踊りであり、太鼓のみでリズムを取るのも特徴の一つです。

(問題38)

古くからの伝統として嫁入りをする時、お嫁さんの「おいり」と言われる米菓子を持っていく風習がありますが、この辺りで呼ばれている別の名称を書いてください。

(問題39)

江戸時代から新居浜一帯で多くとれていた小えび、小魚をすり鉢で練り、豆腐と合わせて油であげて食べる食べ物は、何でしょう。

(問題40)

ふぐざくは、フグの身や皮をきざみ、ネギ、【 問題40 】、ポン酢、紅葉おろしを混ぜ合わせて食べます。

(問題41)



住友重機械搬送システム株式会社が提供しているものの中には、造船所における最も重要な運搬設備であるゴライアスクレーンがありますが、左の写真のゴライアスクレーンは何トンの吊り上げ能力を有しているでしょう。

(問題42)

【 問題42 】は新居 浜ものづくりブランドに唯一団体として認定されています。

(問題43)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも堀りつぎて来たしことの畏こさ」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題44)

生子橋のたもとに河東碧梧桐の句碑「きミを待した与【 問題44 】 散る中を歩く」が建っています。【 】に入る言葉は何でしょう。

(問題45)

「土佐越の遠登志の橋や山桜」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題46)

新居浜の方言で「帰ります」を意味する言葉を書いてください。

(問題47)

新居浜の方言で「てんこつ」を意味する言葉を書いてください。

(問題48)

読売巨人軍の監督をした藤田元司は、東京六大学で活躍し、卒業後は社会人野球でも活躍した経歴の持ち主です。どこの大学の出身でしょう。

(問題49)

新居浜村議、町議、町長、初代市長として連続45年間、自治行政に尽くした人は誰でしょう。

(問題50)

一宮神社の中で神様として祀られている小女郎狸が変化したという「美しき姫」は今でも街の中で見られますが、何という通りで見られるか書いてください。

解答

とっておきの新居浜検定 第11回中級解答用紙

受験番号

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	30	26	久貴屋敷内
2	金子備後守元宅	27	振継
3	飛鳥	28	無事故で明るい平和な祭典
4	90本	29	昭和47または1972
5	60m	30	船御幸
6	133ヶ所	31	平成5または1993
7	8km	32	阿龍・咲龍
8	クラウド社	33	4.5m
9	泉寿亭	34	みなとオアシス
10	ハーコート社	35	大始祭
11	伊庭貞剛	36	ぜんざい
12	第一通洞	37	雨乞い
13	茂津坑	38	パン豆
14	山口幡子	39	えび天
15	3,000	40	カワハギの肝
16	キースラーガー	41	1,330トン
17	昭和10年または1935	42	新居浜機械産業協同組合
18	重要文化財	43	住友吉左衛門友成
19	鉾石	44	桜
20	1,795m	45	酒井黙禪
21	藤田達芳	46	いんでこうわい
22	流下式	47	てっぺん
23	岡本家	48	慶応大学
24	天野好直	49	白石豊二郎
25	榎之本	50	本町通り

○第12回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

鎌倉時代から戦国時代にかけて新居浜地方を支配した豪族を三氏あげて下さい。

（問題2）

大化の改新後、郡制がしかれ、新居浜地域に置かれた郡の名称は何でしょうか。

（問題3）

平成【 問題3 】年度には、平成における愛媛県内合併第1号として、新居浜市と別子山村が合併し、新生新居浜市が発足しました。

（問題4）

太鼓台を台船に乗せ、海神に詣でるため川西地区で隔年開催される催しを何と
いうか書いてください。

（問題5）

昭和47年（1972）に作られた太鼓台の謡【 問題5 】は、毎年、都はる
みの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げます。

（問題6）

別子銅山に電気を供給するため、明治45年（1912）建設された端出場水力
発電所の建物内部には、操業開始からの発電機が現存していますが、この製造
所（メーカー名）を書いてください。

（問題7）

日本最初の山岳鉱山鉄道の別子鉱山鉄道上部線（石ヶ山丈～角石原間 5,532
m）の開通年を書いてください。

（問題8）

昭和4年（1929）頃に、都市計画の一環として別子鉱山鉄道下部線沿線の星
越に住友の会社幹部用として建設された社宅の名称を書いてください。

（問題9）

嶺南側（別子山）と嶺北側（新居浜）を分ける峠、銅山越の標高は何メートル
でしょうか。

（問題10）

端出場鉄橋（ピントラス橋）を設計した設計技師の名前を書いてください。

（問題11）

慶応3年（1867）、米価の値上がりにより別子銅山の稼人が暴動を起こした
際、問題解決に協力し、広瀬幸平とかかわりを持った住職はどこに住職でし
ょうか。

(問題12)

別子銅山の煙害問題は、昭和14年(1939)に中和工場が完成して克服されました。亜硫酸ガスを何によって中和したか書いてください。

(問題13)

別子銅山には主に4つの鉱床から形成されています。筏津・積善・余慶、あと一つは何か書いてください。

(問題14)

端出場水力発電所は、別子銅山に電気を供給するため、明治45年(1912)に建設されましたが、事業を推進した人物の名前を書いてください。

(問題15)

星越隧道は別子鉱山鉄道下部線の星越山を抜けて惣開へ物資運搬を行うための重要なトンネルでした。このトンネルの長さは約何メートルか書いてください。

(問題16)

住友の総理事であった伊庭貞剛は、明治37年(1904)に58歳の若さで現役を退きますが、その後静かに生活を送った、滋賀県大津市にある伊庭の別荘の名前は何かでしょうか。

(問題17)

東平の索道は動力を使用せず【問題17】を下ろす重さを利用して生活物資等を下から荷揚げしていました。

(問題18)

この写真にある橋の名前は何かというのでしょうか。



(問題19)

端出場水力発電所は、明治45年(1912)、わが国最大級の出力3,000kwで建設されました。約【問題19】mの有効落差を利用して発電が行われ、これは当時、東洋一の落差でした。

(問題20)

昭和2年(1927)に住友別子鉱山株式会社の常務取締役役に就任した鷲尾勘解治は、「住友がこの地に銅山に代わるべき事業を起こし、その事業が栄えてこそ新居浜の繁栄が期待できる」という思いから、一貫して企業と地域社会との【問題20】路線をとっています。

(問題21、22)

第三通洞は、東平と日浦を結ぶ約【問題21】kmの坑道です。昭和13年(1938)には、新居浜側と別子山側を結ぶ唯一の交通機関として【問題22】の運転が開始し、昭和48年(1973)まで36年間利用されていました。

(問題23)

元禄11年(1698)には別子銅山の年間産銅量は、【問題23】tに達していません。

(問題24)

大斜坑は海面下約1,000メートルに及ぶ大坑内運搬路ですが、昭和何年に完成したでしょうか。

(問題25)

日本最初の山岳鉱山鉄道である上部鉄道は、片道約【問題25】分をかけて1日8往復で運行していました。

(問題26)

明治25年(1892)、広瀬幸平は、殖産興業に尽力したことが認められ、民間人で初めての明治勲章を受けましたが、そのとき一緒に受勲したのは、渋沢栄一、古河市兵衛、【問題26】です。

(問題27、28)

伊庭貞剛が58歳で現役を退く際に残した次の言葉の空欄を埋めて下さい。
「事業の進歩発達に最も害をするものは【問題27】の過失ではなくて、
【問題28】の跋扈である

(問題29)

この写真の別子銅山関係の施設名を書いてください。



(問題30)

多喜浜塩田開祖である深尾権太輔が死去し、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられている寺の名称を書いてください。

(問題31)

樽谷与一郎は、多喜浜塩田開発のため、備後国より来て以来塩田地主として経営に尽力し、国策により廃田となる昭和34年(1959)まで嘗々と製塩業に従事してきたのは何家か、書いてください。

(問題32)

明治12年(1879)に第四百一十一国立銀行として設立された西条銀行は、明治40年(1907)に多喜浜出張所を置きました。この銀行を何といったでしょうか。

(問題33)

多喜浜塩田における小野家には寛政年間にある俳人が立ち寄ったといわれますが、その人物は誰か、書いてください。

(問題34)

昭和40年(1965)に愛媛県文化財保護委員の八木繁一氏が発見した桜の木は、発見されたお寺の名前がついています。現在、新居浜市指定の文化財である桜の名前は何でしょうか。

(問題35、36)

藤田達芳は、大学卒業後に塩田経営の合理化と近代化を図るため、明治26年(1893)【問題35】を設立し、明治27年(1894)、新居浜で最初の衆議院議員に当選、国会で塩田国有論を提唱。明治38年(1905)、【問題36】の成立に導くなど塩田経営の安定に貢献した「塩田中興の祖」として讃えられています。

(問題37)

多喜浜焼きは、天保年間(1830~1844)に岡本家が塩田用の通水管としての樋瓶を作るため、備前から陶工の【問題37】を呼んで邸内に築かせた「岡本窯」で製陶したのが始まりです。

(問題38)

いもだきの起源となった江戸時代の親睦行事とは何でしょうか。

(問題39)

瀬戸内海でとれる新鮮な小エビと小魚の白身と豆腐を混ぜて「竹輪」にまいて焼き上げた食品は何でしょうか。

(問題40)

別子山地域の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【問題40】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題41)

現在、住友化学株式会社は市内の惣開町、菊本町、【問題41】に総面積360万㎡を超える工場があり、様々な種類の製品を生産しています。

(問題42)

新居浜市では、他市に誇れる優れた工業製品や特徴ある技術を【問題42】として認定し、高い産業集積や魅力ある企業群を全国に広く情報発信しています。

(問題43)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも堀つぎて来しことの畏こさ」
この歌を詠んだ人は誰でしょうか。

(問題44)

新居浜の方言で「よもだ」という言葉の意味は何でしょうか。

(問題45)

新居浜地方の方言で「めんめに」という言葉の意味は何でしょうか。

(問題46)

川田 順が詠んだ次の歌の空欄を埋めて下さい。

「地中にてはたらくことは慣れながら 皆【 問題46 】に礼して這入る」

(問題47、48)

【 問題47 】は、小松藩儒学者・近藤篤山に師事し、のちに泉川星原に【 問題48 】を建て、青年教育にあたり石川栄六、藤田達芳、広瀬満正、小野寅吉など多くの逸材に送り、彼らは新居浜の発展に貢献しました。

(問題49)

昭和4年(1929)以来、角野村収入役、同助役、角野町長などを歴任。同22年(1947)から県議会議員を20年間務め、議長、副議長としても活躍した人の名前を書いてください。

(問題50)

別子山村出身者のイラストレーターで、舞台芸術やアニメーション、映画、グラフィックデザイン、挿絵のほか、新聞、テレビでの文明批判、講演・著作活動など多方面で活躍し、山根温水プール壁画、移動図書館「青い鳥号」などの作品で知られる人の名前を書いてください。

解答

とっておきの新居浜検定 第12回中級解答用紙

受験番号	
------	--

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	金子・松木・宇高・藤田	26	伊達邦茂
2	神野郡	27	青年
3	15	28	老人
4	船岡寺	29	泉寿亭
5	ちよおうさじゅ	30	明正寺
6	シーメンス社	31	岡本家
7	明治26年(1893)	32	芸備銀行
8	山田社宅	33	小林一茶
9	1,294メートル	34	ミヨウショウジザクラ(明正寺桜)
10	小川東吾	35	東浜産塩株式会社
11	瑞応寺	36	塩専売法
12	アンモニア水	37	京屋新六
13	本山	38	お籠り
14	鈴木馬左也	39	えびちくわ
15	110	40	45
16	活機園	41	大江町
17	鉾石	42	新居浜ものづくりブランド
18	眼鏡橋	43	住友吉左衛門友成
19	597	44	無茶を言うこと
20	共存共栄	45	各人ごとに
21	4	46	大山樵
22	かご電車	47	遠藤石山
23	1521	48	稲米館
24	43年	49	近藤廣仲
25	40	50	真鍋博

○第13回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

新居浜市制施行30周年を記念して選定された市樹の名前を書いてください。

（問題2）

金子城跡の山麓にあり、境内には金子備後守の供養塔と武将たちの墓がある「お寺」の名称を書いてください。

（問題3）

新居浜市の地質の面では、平野部と南部にそびえ立つ山地との境部分、すなわち山麓線には、日本列島を東西に横切る大断層が走っています。その大断層の名称を書いてください。

（問題4）

別子山の森林公園ゆらぎの森園内で見ることができるクマガイソウは、袋状の花の形が源平合戦の一の谷の戦いで、平家の武将を討った熊谷直実の母衣に見立てられたことが名前の由来です。【問題4】と共に日本の代表的な野生ランとされています。

（問題5）

布団締めめの龍の立体刺繍は、立龍で「【問題5】」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」「降雨神説」と諸説があります。

（問題6）

五穀豊穡と大漁を祈願し行われる船御幸は、現在はコンクリート製の台船で行われているが、昭和10年（1935）頃は、【問題6】で行われていました。

（問題7）

新居浜太鼓祭りの初日、各太鼓台は宮入りをを行い、それぞれの【問題7】に太鼓台を奉ります。

（問題8）

昭和47年（1972）に作られた太鼓台の謡【問題8】は、毎年、都はるみの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げています。

（問題9）

初めて太鼓台が派遣されたのは、昭和45年（1970）に開催された【問題9】博覧会です。

（問題10）

太鼓台のかき夫の掛け声は、「ちょーさーじゃー、ちょーせーじゃー」「【問題10】」「そーりゃ、えいやえいや、よいやさーのさっさー」の三種が基本です。

(問題 1 1)

四阪島への移転により広がった煙害を認め、「たとえ煙害に対する損害を弁償する額以上を支出することになろうとも、除害設備を施設する覚悟である」と煙害の根本的な解決策を示した住友家第 3 代総理事の名前を書いてください。

(問題 1 2)

端出場水力発電所は、明治 45 年（1912）に建設されました。増大する電力需要に対応するために建設された発電所で、その発電は、当時東洋一といわれた約 597 メートルの落差を利用して発電を行いました。大正 12 年（1923）には「ある施設」へ電気を供給するため、出力 4,500kW まで増強し、別子銅山のさらなる近代化に大きく貢献しました。この「ある施設」の名前を書いてください。

(問題 1 3)

広瀬歴史記念館の入り口にある広瀬幸平の銅像の原型木型を制作した人の名前を書いてください。

(問題 1 4)

星越隧道は、別子鉱山鉄道下部鉄道のトンネルとして明治 37 年（1904）頃に建設されました。星越隧道の長さは約何メートルあったでしょう。

(問題 1 5)

大正 5 年（1916）7 月から建築が始まり、全盛期には 300 戸、1,300 余りの人々が生活し、別子銅山の社宅最大の石づくりの階段があった社宅の名称を書いてください。

(問題 1 6)

別子山中から新居浜への荒銅の荷下げや諸物資運搬の中継基地の役割を果たしたところの名称を書いてください。

(問題 1 7)

私立小足谷尋常小学校は、明治 8 年（1875）にどこに開校されたか書いてください。

(問題 1 8)

元禄 7 年（1694）の別子大火災で亡くなった 132 名の霊を弔うための墓所を書いてください。

(問題 1 9)

平成 5 年（1993）、住友林業株式会社が別子山中七番に建設した、山林経営や環境保全への取り組みを学ぶことができる施設の名称を書いてください。

(問題 2 0)

広瀬歴史記念館の入り口に、復元された広瀬幸平の銅像が立っていますが、戦時中に接收された元々の銅像は、広瀬幸平の何の祝いの為に住友家が依頼したものでしょう。

(問題21)

別子銅山の歴史は、元禄3年(1690)に別子山中における露頭の発見から始まり、別子山中から始まった採鉱は、時代が進むにつれて下がっていき、最終的には、海面下約1,000メートルまで掘り進めました。しかし、湧水や地熱・地圧(山ハネ現象)などにより採鉱は断念せざるを得ないものと判断され、昭和【問題21】年に筏津坑の閉坑を最後にその歴史に幕を閉じることとなりました。

(問題22)

昭和通りには、昭和橋・【問題22】・共存橋・共栄橋の4つの橋が架かっています。

(問題23)

東平接待館に宿泊した土井晩翠は、「東平の やまふところに 石楠の花ながめつつ【問題23】」と歌に詠みました。

(問題24)

国の登録有形文化財である住友化学株式会社愛媛工場歴史資料館の横に設置されている「惣開の記」碑は、広瀬幸平が文章を作りましたが、書は「幕末の三舟」のひとりである【問題24】によるものです。

(問題25、26)

明治38年(1905)、東平から新居浜側の【問題25】への索道ルートが出来ましたが、その後【問題26】へルート変更したのは、昭和10年(1935)でした。

(問題27)

花が2月末から3月中旬頃咲き始め、ネハンザクラとも呼ばれる、愛媛県文化財保護委員の八木繁一氏が発見して昭和52年(1977)に新居浜市の天然記念物に指定された植物の名前を書いてください。

(問題28)

塩田の一日で午前中の作業は引浜、では午後の作業は何というでしょう。

(問題29)

共通する言葉で空欄を埋めてください。

酒井黙禅の句碑「濱屋敷西日に映ゆる大【問題29】」、天野好直の歌碑「この濱を拓きし人の面影を語り伝えや松よ【問題29】よ」は、久貢屋敷内にあります。

(問題30)

江戸時代後期1800年頃、藤田家当主は西条藩士多喜浜塩田【問題30】として田の発展に尽しました。また14代当主藤田吾郎は西条藩の剣道指南役を務める家柄でした。

(問題31)

多喜浜塩田では様々な道具が使用されており、作業開始と作業量を示す合図の旗として全ての地場の作業を行う赤旗と半分の地場の作業を行う赤白旗が使用されていましたが、旗の名称を書いてください。

(問題32)

多喜浜小学校内にある「ソルティ多喜浜」で再現されている製塩の仕組みは何式でしょう。

(問題33)

多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何というでしょう。

(問題34)

【問題34】は、明治27年(1894)新居浜で最初の衆議院議員となり、塩田国有論を提唱し、明治36年(1903)塩専売法の制定に導いた塩田中興の祖と称えられています。

(問題35)

アッケシソウ(厚岸草)は、海水が出入りする湿地に生えるアカザ科の1年草です。葉は退化して「鱗片状」に変化し、草丈15~30cmくらいに成長し、8~9月頃にひっそりと開花します。11月頃になると鮮やかに紅葉することから【問題35】ともいわれています。

(問題36)

多喜浜塩田は、江戸時代元禄の終わり頃から始まり、250年余り営々と塩づくりに携ってきた輝かしい歴史を持っていますが、昭和34年(1959)、国の政策によりその幕を下ろしました。この間、最も長く続いた製塩法は何というでしょう。

(問題37)

武徳殿は、住友家と【問題37】の寄付により昭和13年(1938)に建設されました。

(問題38)

別子山地区の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【問題38】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題39)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めるとともに、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設され、平成6年(1994)に開館しました。館内には、【問題39】「科学技術館」「産業館」の3つの常設展示室があります。

(問題40)

新居浜市の無形民俗文化財に指定されている大島のとうどおくりのとうどは、正月のしめ飾りや竹やワラなどを集めて円錐形に築き、幟が連なっていますが、この幟には何と書かれているでしょう。

(問題41)

船木地区に伝わる雨乞いの踊りを何というか書いてください。

(問題42)

一宮神社に祀られている狸で、慈眼寺の和尚に化けて大阪に船で渡った狸の名称を書いてください。

(問題43)

瀬戸内海でとれる新鮮な小エビ、小魚の白身、豆腐を混ぜて焼き上げたものを何というでしょう。

(問題44)

いもだきの起源となった江戸時代の親睦行事とは何でしょう。

(問題45)

住友金属鉱山株式会社で生産される【 問題45 】は、ステンレスを代表とする特殊鋼をはじめ、化学・エネルギー・航空宇宙産業などの日本の最先端技術、特に電子産業を支える素材として欠くことのできない重要な金属です。

(問題46)

別子銅山開坑に伴う木材資源の調達から始まった住友林業にとって、新居浜は事業の発祥の地であり、グループ全事業の原点です。その住友林業は、全国約4万haの社有林を管理していますが、そのうち新居浜を中心とした四国エリアで管理しているのは、全体の約何%に相当するでしょう。

(問題47)

「地中にてはたらくことは慣れながら 皆大山祇に礼して這入る」と詠んだ歌人の名前を書いてください。

(問題48)

「大露頭赭くてそこは雪積まず」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題49)

周桑郡小松町に生まれ、泉川の星原に「稽崇館」を建て、地方の青年教育にあたり、藤田達芳など多くの逸材を世に送った儒学者の名前を書いてください。

(問題50)

次の4つの事柄を古い順に並べてください。

- ①多喜浜塩田開発が深尾権太輔によって着手される。
- ②別子銅山が住友により採掘が開始される。
- ③瑞応寺が建立される。
- ④金子備後守元宅が秀吉の四国攻めで小早川隆景軍に敗れる。

解答

とっておきの新居浜検定 第13回中級解答用紙

受験番号

得点

※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	くす	26	講出場
2	妙眼寺	27	ミヨウショウジザクラ
3	中央構造線	28	持浜
4	アツモリソウ	29	軽鉄
5	阿龍・咩龍	30	惣肝煎役
6	木造ダルマ船	31	ボンデン
7	氏神	32	流下式
8	ちょおうさじゃ	33	振楸
9	大阪万国	34	鎌田達芳
10	そーりゃっ、そーりゃ	35	谷地開湖
11	鈴木馬左也	36	入浜式塩田
12	四阪島製錬所	37	白石善二郎
13	高村光雲	38	45
14	110m	39	自然館
15	鹿森	40	宝来山左衛門
16	立川中宿	41	かぶと踊り
17	目出度町	42	小女郎狸
18	蘭塔場	43	えびちくわ
19	フォレスターハウス	44	お籠り
20	古希	45	電気ニッケル
21	48	46	36%
22	申孝儀	47	川田順
23	鷲をさく	48	山口薫子
24	高橋泥舟	49	遠輝石山
25	黒石	50	③→④→②→①

○第14回 とっておきの新居浜検定 中級（記述式 制限時間60分）

（問題1）

新居浜市は、東経【 問題1 】度17分、北緯33度57分に位置し、東は四国中央市、西は西条市、南は高知県境に接し、北は瀬戸内海の燧灘に面しています。

（問題2）

金子山の北麓にあり昭和27年（1952）に発掘、その後整備された、金子城主累代の墓であったと考えられているものは何でしょう。

（問題3）

国指定文化財である一宮神社のクスノキ群は約90本のクスノキで構成されていますが、その中で最も大きなものを何と呼んでいますか。

（問題4）

市内中央部を流れる国領川の上流に架かる生子橋から、マイントピア別子、鹿森ダム、清滝等を経て河又に至る約10キロメートルの渓谷の名称を書いてください。

（問題5）

新居浜新民謡「ちょおうさじゃ」の作詞家は誰でしょう。

（問題6）

天を支える柱であり、東西南北の四方を表すとされる太鼓台の部位はどこでしょう。

（問題7）

基本の太鼓の打ち方は何拍子でしょう。

（問題8）

絢爛豪華な新居浜太鼓台はさまざまなイベント等に派遣されていますが、平成5年（1993）に海外にも派遣されています。その国はどこでしょう。

（問題9）

太鼓台派遣事業は、昭和45年（1970）に開催された【 問題9 】のお祭り広場に出場したのが始まりです。

（問題10）

元禄7年（1694）の別子大火災で亡くなった132名の霊を弔う墓所を何というでしょう。

（問題11）

第三通洞は、何年から建設作業をはじめ、明治35年（1902）に完成したか、書いてください。

（問題12）

別子銅山は元禄4年（1691）に開坑しましたが、閉山したのは何年か書いてください。

(問題13)

画期的な物資輸送路として別子銅山の近代化を進める原動力となった、別子銅山で初めてできた輸送用トンネルの名称を書いてください。

(問題14)

別子の荒れ果てた山々を嘆き、「旧の青々とした姿」に戻すため年間百万本を超える植林を指導した住友2代総理事は誰でしょう。

(問題15)

別子銅山の煙害対策で惣開にあった製錬所を移転した島の名前を書いてください。

(問題16)

旧別子エリアでキースラーガーと呼ばれる黄銅鉱を主とした層状硫化鉱物が地表に出てきたものを何とというか書いてください。

(問題17)

その建物は、明治45年(1912)に別子銅山で使用する電気をつくるために建てられ、当時東洋一といわれた597mの有効落差を利用して発電を行いました。平成23年(2011)には、国の登録有形文化財に登録され、令和5年(2023)3月28日には一般公開を開始したその建物の名前を書いてください。

(問題18)

「行こうか戻ろうか銅山山へ ここは思案の眼鏡橋」と別子銅山せつとう節にも歌われた眼鏡橋(不朽橋)は、物資輸送の中継基地である【問題18】前に架けられていましたが、明治32年(1899)の別子大水害のため流失しました。

(問題19)

住友にゆかりのある川田順は「地中にてはたらくことは慣れながら 皆【問題19】に礼して這入る」と歌に詠みました。

(問題20、21)

遠登志橋は、明治38年(1905)に建設されました。東平や別子山への【問題20】や、銅や鉄などの重金属を含む坑内排水が、川に混入することを防ぐ【問題21】の坑水路も併設されていました。

(問題22)

三代目住友家総理事、鈴木馬左也の出身地はどこでしょう。

(問題23)

東洋のマチュピチュと称されている東平には、ケーブルカーの一種のような仕組みで、高低差の大きい場所へ、荷物を運搬していた設備がありました。その名称を書いてください。

(問題24)

明治45年(1912)に鷲尾勘解治が、鉱山従業員の精神的な向上を図るため設立した私塾の名前を書いてください。

(問題25)

写真の旧広瀬邸の母屋2階であるこの場所は何と呼ばれているか、書いてください。



(問題26)

昭和29年(1954)、多喜浜塩田では入浜式塩田からより効率のよい方式の塩田に転換をこころみました。この塩田の名前を書いてください。

(問題27)

明治17年(1884)、東浜産塩株式会社は瀬戸内海を襲った台風で被害にあった旧西条藩主松平家の塩田を地元塩業者らが購入し、明治26年(1893)の商法施行の際、27軒をもって設立されました。この時の資本金を書いてください。

(問題28)

別子銅山の開坑と同じ元禄の昔、新居浜の一大産業として塩田開発が築造されましたが、元禄【問題28】年に深尾権太輔により着手されたか、書いてください。

(問題29)

久貢屋敷には「多喜浜塩田開基」の顕彰碑が建立されていますが、その顕彰碑に揮ごうした人物は誰でしょう。

(問題30)

多喜浜塩田地主浜旦那小野家は、松神子村の庄屋を務めました。何という屋号で呼ばれていたでしょう。

(問題31)

大蔵省坂出地方専売局多喜浜出張所は、明治38年(1905)の塩専売法に基づき発足し、昭和27年(1952)に新居浜出張所に合併しました。閉鎖されるまでの間、塩や【問題31】などの検査や収納の業務を行っていました。

(問題32)

多喜浜塩田開祖である深尾権太輔が死去し、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられている寺の名称は何でしょう。

(問題33)

塩田地主の家には、天皇家菊の紋章と徳川家葵巴の紋章があしらわれた長櫃があります。これは、孝明天皇の妹【問題33】から拝領されたと言われています。

(問題34)

塩田で使用される道具で、塩を入れる袋の名称を書いてください。

(問題35)

江戸時代後期、1800年頃より藤田家当主は多喜浜塩田惣肝煎役として塩田の発展に尽くす一方、14代当主藤田吾郎は西条藩【 問題35 】を務める家柄でした。

(問題36)

別子銅山記念図書館は、別子開坑【 問題36 】年にあたる平成2年(1990)に住友関係企業21社から寄贈されたものですが、その敷地には、かつて住友の接待館として泉寿亭が建てられており、現在はその一部がマイントピア別子に移築されています。

(問題37、38)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めるとともに、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設されました。館内には、恐竜の動く模型が展示されている【 問題37 】館・科学技術館・【 問題38 】館の3つの常設展示室があります。

(問題39、40)

【 問題39 】は、古くから船木地区に伝わる雨乞いの踊りです。【 問題39 】は、【 問題40 】から江戸時代中期にかけて完成されたといわれています。

(問題41)

この地方には古くからの伝統として、嫁入りをするとき、持って行く習慣がある「おいり」とも呼ばれる米菓子は何というでしょう。

(問題42)

いもだきの起源とされている江戸時代の親睦行事を何というでしょう。

(問題43)

【 問題43 】は、瀬戸内海でとれる新鮮な小エビと小魚の白身と豆腐を混ぜて焼き上げたものです。

(問題44)

新居浜市では、他市に誇れる優れた工業製品や特長ある技術を【 問題44 】として認定し、全国に広く情報発信をしています。

(問題45)

現在、住友化学株式会社は市内の惣開町、菊本町、大江町に総面積【 問題45 】万㎡を超える工場があり、様々な種類の製品を生産しています。

(問題46)

正岡子規が詠んだ次の歌の空白部分を埋めて下さい。

「武蔵野に 秋風吹けば 故郷の 新居の郡の【 問題46 】をしぞ思う」

(問題47)

新居浜地方の方言で「がんごう」という言葉があります。この言葉の意味は何でしょう。

(問題48)

初代新居浜市長となり、住友との協力が大切だと、鷲尾勘解治が提言した新居浜港や昭和通り等の都市計画を実行、新居浜市が工業都市になるもとをつくった人物の名前を書いてください。

(問題49)

角野村収入役、同助役、角野町長などを歴任し、県会議員を20年間務め、議長や副議長としても活躍、また新居浜商工会議所会頭や新居浜市森林組合長、シルバ人材センター会長など、商工業はもとより県内諸産業の発展に尽力した人は誰でしょう。

(問題50)

一宮神社の中で神様として祀られている小女郎狸が変化したという「美しき姫」は今でも街の中で見られますが、何という通りで見られるか書いてください。

解答

とっておきの新居浜検定 第14回中級解答用紙

受験番号		得点
※解答欄に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。		

問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	133	26	流下式塩田
2	五輪の塔（群）	27	42,000円
3	一番桶（棟）	28	16
4	別子ライン	29	鷲尾助解治
5	石本美由起	30	榎之本
6	四本柱	31	煙草
7	四拍子	32	明正寺
8	シンガポール	33	皇女和宮
9	大阪万国博覧会（大阪万博）	34	塩吹
10	蘭塔場	35	剣術指南役又は剣道指南役
11	明治27年（1894）	36	300
12	昭和48年（1973）	37	自然
13	第一通河	38	産業
14	伊庭貞剛	39	かぶと踊り
15	四阪墓	40	室町時代
16	（大）霧頭	41	パン豆
17	旧備出塊水力発電所	42	お籠り
18	立川中宿	43	えびちくわ
19	大山紙	44	新居浜ものづくりブランド
20	生活道	45	360
21	木製	46	芋
22	宮崎県	47	お化け、化け物
23	インクライン	48	白石善二郎
24	自彌舎	49	近藤廣仲
25	望楼楼	50	本町通り



作成:新居浜商工会議所 新居浜検定事業運営協議会

〒792-0025

愛媛県新居浜市一宮町二丁目4-8

TEL0897-33-5581 FAX0897-33-5609

URL:<http://www.niicci.or.jp/>